



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	21年末株価
NYダウ	32,845.13	315.50	0.97	2.97	-9.61	36,338.30
NASDAQ	12,390.69	228.10	1.88	4.70	-20.80	15,644.97
日経225	27,801.64	-13.84	-0.05	-0.40	-3.44	28,791.71
上海総合	3,253.24	-29.34	-0.89	-0.51	-10.62	3,639.78
滬深300 (CSI300)	4,170.10	-55.57	-1.32	-1.61	-15.59	4,940.37
ハンセン	20,156.51	-466.17	-2.26	-2.20	-13.85	23,397.67
中国企業	6,885.48	-197.10	-2.78	-3.11	-16.40	8,236.35

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は2.2%安と反落、上海総合指数は0.5%安

香港市場ではハンセン指数が週間で2.2%安と反落。総じて売り優勢の展開となった。住宅ローン返済拒否問題を受けた中国当局の救済策などを好感して上昇する場面もあったが、週後半は不動産株やネット株などが下げを主導。米利上げペース加速への警戒感の後退したものの、29日は対中制裁関税の引き下げ期待が空振りに終わり、2カ月ぶり安値をつけた。本土市場では上海総合指数が0.5%安と反落。節目の3300ポイント付近では上値が重く、製造業PMIの発表を控えるなか、週を通じて一進一退の展開が続いた。

今週の展望:香港市場は弱含みの展開か、米雇用統計控え週末にかけ様子見も

香港市場は弱含みの展開か。前週末に大きく下げた後だけに買い戻しが期待されるが、中国の景況感悪化で相場の先行きに対する警戒感が強まりそうだ。米中関係については関係改善への期待もあったが、ペロシ米下院議長の台湾訪問問題で緊張が高まっている点が気がかり材料。米雇用統計や中国の貿易統計の発表を控え、週末にかけて様子見姿勢が強まることも想定される。本土市場はもみ合い継続か。景況感の悪化で先行き懸念が強まっているが、中国当局による景気支援策への期待が下支えとなりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 信義光能(00968)	13.34	7.58
2 銀河娛樂(00027)	46.70	4.01
3 シンバック(00386)	3.70	3.93
4 中国中信(00267)	8.47	3.29
5 中国宏橋(01378)	8.16	3.29
6 九龍倉置業地産(01997)	34.90	3.25
7 新奥能源(02688)	127.90	3.15
8 レノボグループ(00992)	7.59	3.13
9 サズ・チャイ(01928)	18.40	3.02
10 新鴻基地産(00016)	93.75	3.02

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 碧桂園服務(06098)	17.48	-14.10
2 薬明生物技術(02269)	74.55	-8.92
3 アリババ集団(09988)	93.10	-8.81
4 阿里健康(00241)	4.72	-8.35
5 美团(03690)	176.30	-8.03
6 中升集団(00881)	44.85	-7.81
7 テンセント(00700)	306.80	-7.59
8 吉利汽車(00175)	15.50	-5.60
9 JDドットコム(09618)	233.80	-5.34
10 安踏体育用品(02020)	86.35	-5.32

▼今週の期待材料

- ◆住宅ローン返済拒否問題の拡大懸念がやや後退、中国政府は不動産市場の安定確保を優先させる方針を強調
- ◆FRBのパウエル議長が利上げペースを緩める可能性を示唆、利上げペース鈍化はグロース株の追い風に
- ◆中国企業の決算発表の序盤戦がスタート、市場予想を上回る決算発表が続けば相場全体の押し上げ要因に

▼今週の懸念材料

- ◆米中首脳会談で両国関係に改善見られず、ペロシ米下院議長の台湾訪問問題で緊張高まる
- ◆週末5日に7月の米雇用統計が発表に、結果を見極めようと週末にかけて慎重姿勢が強まる可能性も
- ◆7月の中国の製造業PMIは市場予想を下回る49.0、再び50を割り込み景気の先行き懸念強まる

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 電能実業(00006): 3日に6月中間決算を発表、市場予想は20%増益
- ☆ 長江インフラ(01038): 3日に6月中間決算を発表、市場予想は63%増益
- ☆ 華潤置地(01109): 6月の不動産販売額が3%増加、半年ぶりにプラス成長回復
- ☆ 中国電力国際(02380): 1-6月の電力販売量が7%増加、風力は72%の大幅増
- ★ PCCW(00008): 傘下企業主催のコンサートで事故、大型スクリーン落下で2人負傷
- ★ 海南美蘭国際空港(00357): 6月中間決算は新型コロナの影響で赤字転落の見通し
- ★ 慶鈴汽車(01122): 6月中間決算はコスト増や販売不振で75-85%減益の見通し
- ★ 汽車之家(02518): 3日に6月中間決算を発表、市場予想は46%減益
- ★ 聯想控股(03396): 6月中間決算は減益の見通し、投資先の資産評価額下落が影響
- ★ アリババ集団(09988): 米SECが上場廃止警告リストに追加、上場廃止リスク高まる

▼今週の主なイベント

- 8月5日(金)
- 【米国】雇用統計(7月)
- 8月7日(日)
- 【中国】貿易統計(7月)

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。